



SOLEITA®



SOLEITA D-GLASS™
ウィンドウ用フィルムカタログ
Vol.1-1

製品ラインナップ

FD-W0001 (内貼り) 飛散防止フィルム

地震等の災害時の二次災害対策にも役立つ
飛散防止とUVカットに特化した透明度の高いフィルムです。

安全性の向上だけでなく、有害な紫外線をカットすることにより
室内調度品の褪色防止にも効果があります。
虹彩現象対策品の為、施工後もガラス本来の透明度を保ちます。
マットタイプとの使い分けで、様々な空間への対応が可能です。
JISA5759飛散防止性能(記号A)を満たします。



FD-W1001 (内貼り) すりガラス調フィルム

透明ガラス・アクリルに貼るだけで
美しい、すりガラス調に仕上がります。

カッティングマシンでの加工が可能です。
目隠し効果だけでなく、光の透過を和らげることで
美しい空間を演出します。



【FD-W0001G】飛散防止フィルム

【FD-W0001M】飛散防止フィルム



【FD-W1001】すりガラス調フィルム



飛散防止



UVカットによる褪色抑制効果

A JISA5759のガラス飛散防止性能(記号A)を満たします。

紫外線が主な原因でおこる家具や商品などの
日焼け(褪色)を低減する効果があるもの



目隠し効果

外から視野を遮り、室内を見えにくくする効果があるもの

製品仕様	品番	フィルム全厚 (μm)	ロール巾 (mm)	ロール長さ (m)	遮蔽 係数	日射熱 取得率	日射(%)			可視光線(%)		紫外線 透過	熱貫流率 ($\text{W}/\text{m}^2\text{K}$) ※	ハード コート	基材
							反射	透過	吸収	反射	透過				
	FD-W0001G 飛散防止フィルム (グロス)	77	77	970	50	0.97	0.85	8	82	10	10	89	<1	6.0	○
1250				50											
1550				30											
FD-W0001M 飛散防止フィルム (マット)	77	77	970	50	0.75	0.72	11	66	23	16	72	<1	5.9	—	PET
			1250	50											
FD-W1001 すりガラス調フィルム	195	195	1000	20	—	—	7	78	15	—	84	5.8	—	—	塩ビ
			1200												

掲載されている特性データなどは、当社および研究機関の実施した評価結果に基づくものですが、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
ご使用の際は、実際に使用される条件を十分ご検討のうえ、ご使用いただけますようお願いいたします。

※JISA4710

■ 熱割れについて

窓ガラスにウインドウ用フィルムを貼ると、ガラスの温度が上昇し、割れることがあります。

熱割れが生じる条件は①ガラスの種類、②窓の方位、③影の形状、④カーテンやブラインドの影響、⑤ガラスの大きさ、⑥ガラスの取付状況によって決まります。

熱割れが発生する可能性についてはお問い合わせください。

熱割れ現象とは	窓ガラスが太陽放射熱を受けた場合、ガラスへの熱吸収により中央部が高温になります。その反面ガラス周辺部はサッシ内に入っているため日射が当たらず、またサッシへの放熱もあり、低温のまま膨張しません。この為、周辺部は中央部の熱膨張を拘束することになり、引張応力が生じます。
---------	--

■ 施工後の水残りについて

施工完了後、ガラスとフィルムの間に僅かに残った施工液が水泡として現れたり、フィルム面が一時白濁することがあります。この現象は水分が水蒸気化して徐々に抜けてきれいになりますが、日当たりの悪い場所、気温の低い場所、多湿の場合などはある程度日数がかかることがあります。

■ 干渉縞について

耐摩耗性ハードコート層が付与されたウインドウ用フィルムでは、室内蛍光灯や太陽の反射光によって干渉縞が見えることがあります。これは、ハードコートの様な塗膜を塗布することで、一部の波長の光が強め合うために起こる現象で、フィルム表面が虹色に見えることがありますので予めご注意ください。

■ 施工後のメンテナンスについて

1. 清掃について

- ・ 柔らかい布を使用して水拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を汚れの程度に応じて使用してください。中性洗剤を使用したときは、洗剤が残らないように十分に水拭きしてください。
- ・ 水拭きするときはフィルムの表面を一方方向に拭く様にしてください。
- ・ アルカリ性、酸性の洗剤及び有機溶剤などは、使用しないでください。
- ・ 乾拭きは避けてください。
- ・ クレンザー、硬い布、紙などフィルム面を傷つける恐れのあるものは使用しないでください。
- ・ フィルム面に継ぎ目があるときは継ぎ目に沿って拭いてください。

2. 日常のご注意

フィルムを劣化させず、長い期間ご使用いただく為に下記の点にご注意ください。

- ・ 硬い物や尖ったものを当てないようにしてください。
- ・ タバコの火、その他の高温の熱源を近づけないでください。
- ・ セロハンテープを貼り付けたり、マーキングフィルムなど粘着剤を使用したものを貼り付けしないでください。

<http://www.soleita.jp>



PLASTICS & BUILD MATERIALS

藤田産業株式会社

FUJITA INDUSTRY Co.,Ltd.

※このカタログの内容は、予告なく変更することがございますので、予めご了承ください。 ※サンプルが必要な方は、HPまたは販売店までお問い合わせください。